

本質的な問い 働く意義とは何か。

単元名 ～社会を知ろう～働くことの意味や働く人の夢や願い

児童生徒の実態

進路について関心はあるものの、明確になっていない、具体的に想像できない生徒が多い。
情報をまとめることはできるが、重要なキーワードで簡潔に説明したり、発表から疑問を投げかけることは難しいと感じる生徒が多い。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・知識及び技能を確実に習得し、新たな知識や技能を既得の知識及び技能と関連付けながら他の学習や生活の場面で活用することにより深く理解することができる。
- ・習得した知識や技能を活用したり、相互に関連付けたりしながら、問題発見・解決につなげたり、考えを表現したり、伝え合ったり、理解したり、形成したりすることができる。
- ・自ら課題を進んで見だし、その解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組み、探究的に課題解決への挑戦をすることができる。

単元を貫く問い 人々は、働く上で、どのような工夫をなぜ生み出すことができたのか。

【探究課題 働く上でどのような工夫が生まれているのか。】

【第3次】（ 15時間）

課題 様々な事業所の工夫を知り、進路選択につなげる。

個別の問い

- ・事業所ごとの工夫は何のためにされているのか。
- ・わかりやすく伝えるために、重要なキーワードは何か。
- ・職場体験から学んだことを、今後の進路実現にどのようにつなげていくのか。

ポスターセッション

キーノート

(しかけ)
様々な事業所での仕事内容や工夫を知り、どの仕事も人との関わりの中で成り立ち、やりがいのある仕事であることから、自らの進路選択へつなげる。

【第2次】（ 15時間）

課題 職場体験から働く人々の工夫を学ぶ。

個別の問い

- ・働く上で大切なことは何か。
- ・働く上で、人々はどのような工夫をしているのか。
- ・中学生の自分にできることは何か、自分に足りないものは何か。

(しかけ)
働いている人々が大切にしていることや工夫で効率の良い仕事になったり、新しいアイデアで社会に貢献できる事業になったりしていることを気付かせる。

【第1次】（ 10時間）

課題 社会に出て、働くとはどういうことか学ぶ。

マナーハンドブック

個別の問い

- ・どのような態度が社会で通用する態度か。
- ・呉市にはどのような事業所があるのか。

(しかけ)
挨拶や返事、敬語や時間を守ることなどの普段のマナーや礼儀が、社会でも通用することから、自らの生活態度を省みさせる。

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・解決の道筋がすぐには明らかな課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
 - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・活動をこなすだけになっていないか。
 - ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
 - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・第1次だけで構成していないか。
 - ・第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。